

昭和 47 年 度

学 習 便 覧

熊 本 女 子 大 学

学 習 便 覧

目 次

I 学習課程と履修方法

1. 学習の始めに.....	2
2. 行事予定.....	2
3. 学部及び学科の構成.....	3
4. 授業科目.....	3
5. 履修方法.....	3
(a) 基本的事項.....	3
(b) 一般教育科目の履修方法.....	5
(c) 外国語科目の履修方法.....	6
(d) 専門科目の履修方法.....	6
(e) 教職課程の履修方法.....	6
(f) 栄養士養成課程について.....	6
(g) 卒業論文履修基準.....	8
(h) 教育実習履修基準.....	8
(i) 生活改良普及員受験資格について.....	9

II 講義要項 (1年次)

(I) 一般教育科目.....	10
(II) 外国語科目.....	16
(III) 保健体育科目.....	19
(IV) 専門教育科目.....	20

学習課程と履修方法

1. 学修の始めに

新入生の学習の便に供するため、学生便覧のうち学習関係の要点の抜萃と講義要項とをまとめたのが学習便覧である。

学生便覧と学習便覧を併せて利用し、理解するよう希望する。

2. 昭和47年度行事予定表

47年 4月	1・2日	水	新入学生登校日
	13日	木	入学式
	14・15日	金 土	新入学生オリエンテーション
	17日	月	授業開始
	29日	土	天皇誕生日
5月	2日	火	開学記念日
	3日	水	憲法記念日
	5日	金	子供の日
	6月12～	月	4年生教育実習
7月	9日	日	夏季休業開始
9月	10日	日	夏季休業終了
	9月 11日	月	授業再開
10月	9～16日	月～月	前期試験
10月	23日	月	後期授業開始
11月	3日	金	文化の日
11月	中		学園祭
11月	23日	木	勤労感謝の日
12月	25日	月	冬季休業開始

47年 1月	10日	水	冬季休業終了
	1月 11日	木	授業再開
	1月 25-31日	木～水	4年生後期試験
2月	11日	日	建国記念日
	2月26-3月8日	月～木	3年生以下後期試験
3月	10日	土	卒業式
	3月 9-24日	金～土	自宅研修
	3月25-4月10日	日～火	春季休業

3. 学部及び学科の構成 (学則第2章参照)

4. 授業科目 (学則第3章参照)

5. 履修方法

(a) 基本的事項

1. 学期区分

学年を分けてつぎの前期・後期の2学期とする。

前期 4月 1日から10月20日まで

後期 10月21日から 3月31日まで

2. 授業時間

1時限 9時 ～10時30分

2時限 10時40分～12時10分

3時限 12時50分～14時20分

4時限 14時30分～16時 (実験実習の場合16時45分)

3. 在学期間

4カ年以上 (休学期間を除く) 在学しなければならない。

しかし、8年をこえてはならない。

4. 卒業の要件

本学を卒業し、家政学士または文学士の称号を授与されるためには、次の要件を充たさなければならない。

科 目	単 位 数
一般教育科目 { 人文 社会 自然	36
外国語科目	16 (但し食物学科の学生は12単位)
保健体育科目	4
専門科目 { 家政学科 国文学科 英文学科	68以上 (卒業論文6単位を含む)
専門科目 食物学科	72以上 (卒業論文6単位を含む)

5. 単位の種数

(1) 必修、選択の別

単位には必ず履修しなければならない必修単位と、選択して履修する選択単位とがある。

(2) 講義・演習・実験実習

講義単位 毎週1時間15週の教室における学修で1単位。

演習単位 毎週2時間15週の教室における学修で1単位。

実験実習単位 毎週3時間15週の実験実習で1単位。

6. 試 験

(1) 定期試験とは、前期・後期の各期末に時期を定めて行い試験をいう。

(2) 臨時試験とは、集中講義科目またはその他の科目について、定期試験以外の

時期に行い試験をいう。

(3) 追試験は病気、就職試験、受験その他やむを得ない理由により、定期試験を受験することができなかつた者に対して行い試験をいう。

(追試験の受験を希望する者は、事由書を添付した所定の追試験を終了の日から10日間以内に教務課に提出しなければならない。)

(4) 再試験とは、当該年度の定期試験または追試験の成績が不合格の科目について、科目担当の者が特に再試験を承認した場合に限り行い試験をいう。(再試験の受験を認められた者は、再試験許可願を教務課に提出しなければならない。試験の時期は前期の場合は12月中旬まで、後期の場合は4月下旬までに行いものとする。)

(5) 試験を認めない場合

1 履修届をだしていないもの

2 出席が当該科目の授業時間数5分の3に満たざるもの。

3 所定の受験許可願を出していないもの(追試験及び再試験の場合)

(6) 成績の評価

優	100点~80点	合格
良	79点~70点	
可	69点~60点	
不可	59点以下	

追試験の成績 得点 90%以下

再試験の成績 60点(合格最低点)

試験において不正行為を行なつた者は、当該科目について単位を与えない。

(7) 受講手続

所定の履修届に各学科の授業科目内容をよく研究し、授業開始の日から一週間以内に教務課に提出する。

期限内に手続きしない科目については受講できない。

なお届けたあととは変更追加、取消は原則として認められないので充分に注意すること。

(b) 一般教育科目の履修方法

人文科学関係、社会科学関係及び自然科学関係の3つの系列にわたってそれぞれ3科目以上、合計9科目以上修得しなければならない。

詳細は学生便覧の一般教育科目の履修方法参照

(c) 外国語科目の履修方法

学生便覧の外国語科目の履修方法参照

(d) 専門科目の履修方法

家政学科・国文学科及び英文学科の学生は、学士号を取得するためには68単位以上を修得しなければならない。(食物学科の学生は72単位以上)

各学科の卒業するための必修科目は、学生便覧の専門科目の履修方法参照

(e) 教職課程の履修方法について

教育職員の資格を取得するためには、教育職員免許法及び同法施行規則の規定により学士号(卒業資格)を有することを基礎資格とし、次は所定の単位を修得することが必要条件となっている。

必要なる条件とは、一般教育科目について36単位(人分・社会・自然の3系列にわたって)人文科学系列の哲学、倫理学の2科目のうちいずれかの1科目と社会科学系列の日本国憲法を修得しなければならない。

外国語科目の履修方法は学則17条参照

専門科目の履修方法は、教科に関する専門科目と教職に関する専門科目に分類される。

詳細については学生便覧の教職課程について参照

(f) 栄養士養成課程について

学則第6条第2項の規定により栄養士の資格を取得するために履修しなければならない栄養士養成課程は次のとおりである。

授 業 科 目	単 位 数	備 考
栄 養 学 概 論	2	
栄 養 化 学	6	
栄 養 生 理 学	4	
栄 養 病 理 学	4	
育 児 学	4	
栄 養 学 特 論	4	
栄 養 学 実 験	2	
特 殊 栄 養 学 実 習	3	
食 品 化 学	4	
食 品 学 概 論	4	
応 用 微 生 物 学	2	
食 品 加 工 貯 蔵	6	実習を含む
食 品 学 実 験	3	
衛 生 法 規	2	
公 衆 衛 生 学	4	
衛 生 学 特 論	4	
公 衆 衛 生 学 実 習	2	
食 品 衛 生 学	4	
食 品 衛 生 学 実 験	2	
栄 養 指 導 理 論	6	
給 食 管 理 理 論	2	
給 食 管 理 実 習	2	
調 理 理 論	4	
調 理 実 習	6	
食 糧 経 済	4	
社 会 福 祉	4	
計	94	

(g) 卒業論文履修基準

- (1) 卒業論文履修資格は、卒業予定年次の前年度末において、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目および専門教育科目にわたって合計95単位以上を修得し、学年末に卒業見込みの者に与えられる。
- (2) なお、外国語科目および保健体育科目の必修科目を修得していなければならない。そのほか、既に開講された専門科目の必修科目のうち2科目以上の未修得科目があつてはならない。
- (3) ただし、病気その他已むを得ない理由により追試験を受験したものの単位認定の時期は、4月30日までとする。

適用年度 昭和46年度入学生から適用。
(昭和45年12月22日教授会)

(h) 教育実習履修基準

- (1) 教育実習履修資格は、卒業予定年次の前年度末において、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目、専門教育科目および教職課程科目にわたって合計100単位以上を修得し、教育実習実施学年末に卒業見込み者に与えられる。
- (2) なお、一般教育科目の法学（日本国憲法2単位を含む）4単位、哲学又は倫理学4単位、外国語科目および保健体育科目の必修科目、開講された教職課程科目の必修科目を修得していなければならない。
そのほか、既に開講された専門科目の必修科目のうち2科目以上の未修得科目があつてはならない。
- (3) ただし、病気その他已むを得ない理由により追試験を受験したものの単位認定の時期は、4月30日までとする。

適用年度 昭和46年度入学生から適用。
(昭和45年12月22日教授会)

(i) 生活改良普及員受験資格について

生活改良普及員の受験資格を取得するために履修しなければならない専門科目は、下記のとおりである。

専門科目	単位数	本学関係授業科目
家政学原論	2	家政学原論又は家政学
被服学、衣科学	4	被服学概論、被服材料学、紡織学、服装美学、服装史、被服整理、染色学、意匠学、色彩学、美術鑑賞及び美術製作、洋裁理論、和裁理論
食品学、栄養学	6	栄養学概論、食生活史、栄養化学、栄養生理学、栄養病理学、栄養学概論、栄養学実験、特殊栄養学実習、食品化学、食品学概論、応用微生物学、食品学実験、食糧経済、調理理論
住居学	4	住居学概論
家庭管理学、家庭経済学 家族関係	4	家庭管理学又は家政管理学、家庭経済学 家族関係
育児学、家庭看護学、 衛生学	2	育児学、公衆衛生学、衛生学特論
調理実習、食品加工	6	調理実習、食品加工
被服実習	4	洋裁実習、和裁実習、手芸実習

備考 専門科目の被服学、衣科学の4単位は、本学の被服学概論及び被服材料学の単位を、食品学、栄養学の6単位は、栄養学概論及び食品学概論の6単位を、家庭管理学、家庭経済学、家族関係の4単位は、家庭管理学又は家政管理学及び家族関係の8単位を、育児学、家庭看護学、衛生学の2単位は、育児学（家庭看護を含む）の4単位を含まなければならない。

講義要項

(1) 一般教育科目

人文科学関係

哲学 (全学科関係) 4単位 講師 佐藤 公一

前期 哲学の一般的性格の素描(哲学の基盤について考察し、あわせて認識論、存在論等の哲学個有の問題に触れる。)

後期 西洋哲学史概観

著者名 桂 寿一

書名 哲学概説

発行所 東大出版会

価格 550円

倫理学 (全学科関係) 4単位 講師 佐藤 公一

倫理学の基本的性格を明らかにし、西洋倫理想の類型を考察し、更に現代倫理学の課題にも触れたい。

著者名 大島 康正 編

書名 倫理学

発行所 有信堂

価格 550円

心理学 (家政、食物学科関係) 4単位 講師 池田 勝昭

行動科学としての現代心理学の基礎を学び、人間行動の本質について理解を深める

著者名 西川 好夫

書名 図説・心理学入門

発行所 法政大学出版局

価額 850円

文学 (家政、食物学科関係) 4単位 教授 本田 義彦
国文学のうち、前期は散文学、後期は韻文学を講義する。散文学では、その代表的作品「源氏物語」の古写本をテキストとし、韻文学ではその歴史的展開の上においてそれぞれ散文学、韻文学の真隨にふれようとするものである。

著者名

書名

発行所

価格

別に定める。

文学 (国文学科関係) 4単位 漢字 漢語 漢文
教授 古沢 未知男

1. 現代学生が一般に誤字や拙文多く、漢字、漢語の知識に甚だ乏しいことは既に周知の事実である。これは国文学科学生と雖も決して例外ではない。否国文専攻学生として誠に恥ずかしい状態さえある。
2. 即ちこの講義はこれを補うため、国文学科学生のみを対象として、漢字・漢語・漢文の基礎的能力を養うことを第一目的とするものである。
3. 教科書として拙著「漢詩引用より見た万葉集(或は源氏物語)の研究」を使用するので、それと同時に所謂文学的要素を加味して実施するものとする。
4. 以上の趣旨により、二年次以降国文や漢文を履修せんとする国文学科学生はつとめてこの講義を受講することを希望する。

著者名 古沢 未知男

書名 漢詩文引用より見た万葉集(或は源氏物語)の研究

発行所 東京 桜楓社

価格 2,500円(但し1年分割払とし、卒業まで4年間連続使用するものとする。)

文学 (英文学科) 4単位 教授 阿波 保喬

明治の文学の中で、イギリス文学と関係の深い島崎藤村と国木田独歩の作品に英文学、特にワーズワースの影響が強く感じられる。前期は主として独歩、藤村の作品、後期はワーズワースの詩を採り上げる予定。

書名 岩波文庫

藤村詩抄

号外、少年の悲哀

武蔵野

Wordsworth 詩集 (研究社小英文学叢書)

心理学 (国文、英文学科関係) 4単位 講師 勝 俣 映 夫

美学及び美術史 (全学科関係) 4 単位 講師 江 上 竜 介

音 学 (全 学 科 関 係) 4単位 講師 梅 沢 信 一

社会科学関係

法 学 (全 学 科 関 係) 4 単位 助 教 授 生 野 一 路

前期は、日常の法律問題を通じて、法律の基礎知識と法学の方法の特殊性を体得させたい。

後期は、日本国憲法、概要を現実の問題に関連づけて考察する。

著者名 中川善之助 外二名

書 名 市民のための法律入門

発行所 有斐閣

価 格 430円 (昭和46年4月現在)

著者名 小林直樹

書 名 「憲法を読む」 岩波新書

発行所 岩波書店

価 格 150円 (昭和46年4月現在)

家政学 (食物、国文、英文学科関係) 4単位 大坂己年子

家政学とは、いかなる学問であるかを述べ、次いで家族の特質と家庭生活のあり方について述べる。

著者名 野口サキ 他三名

書 名 家政学原論・家庭経営

発行所 朝倉書店

価 格 680円

9版発行 45.1.15発行

社会学 (全学科関係) 4単位 教授 坂口一男

歴史学 (全学科関係) 4単位 教授 森 裕三

自然科学関係

数 学 (家政、食物学科関係) 4単位 助 教 授 城 島 邦 行

解析学初歩の紹介

著者名 村上正康

掛下伸一

書 名 統計のための数学2

発行所 培風館

価 格 680円 (45年の価格)

数 学 (国文、英文学科関係) 4単位 助 教 授 城 島 邦 行

現代の数学の基礎的な言語としての性格をもつ集合の概念と初歩の線型代数の紹介。

著者名 野崎昭弘
書名 現代教養数学
発行所 サイエンス社
価格 550円 (45年の価格)

物理学 (全学科関係) 4単位 講師 大津藤三郎

- 1 微分、積分を用いた力学
- 2 回転運動
- 3 特殊相対性原理
- 4 光の波動論 (回折、干渉、偏光)
- 5 電気、磁気理論 (特に家庭電気製品の構造)
- 6 気体放電現象 (ブラウン管、蛍光灯の構造を含む)
- 7 前期量子論 (原子分子)

著者名 吉田卯三郎・竹脇又一郎 共著
書名 物理学 (下巻) (五訂)
発行所 三省堂
価格 480円 (昭和45年4月現在)

化学 (家政、食物学科関係) 4単位 教授 伊勢田駿

広義の生活現象に関係づけて、化学の根本概念、現代の化学の進歩状況を基本として種々の応用面についても、物理、生物、工業など隣接領域との境界にかゝらず広い視野から見て行く。

書名 生活の化学
発行所 化学同人
価格 750円 (予定)

化学 (国文、英文学科関係) 4単位 助教授 石本京子
社会、個人的生活と化学的知識の相関関係を基にして、化学的から科学的の自然観、思考法を訓練すると共に、常識的の化学知識の整理、教育を目的とする。

著者名 伊勢田、伊藤、茨木、小倉、栗山、団野、寺崎、富田、松尾、三橋、依田
書名 文科系学生の化学
発行所 槇書店
価格 不明

生物学 (全学科関係) 4単位 助教授 林克己
生命の起源、細胞、動物体の構造と生理、動物の栄養、植物体の構造、植物の生理、エネルギーの転換、生体の調節作用、生殖と発生、遺伝、過去の生物と進化、生物の種類、の12の部門にわたって、動植物の根本的事象の説明をおこない、あわせて人間理解への手がかりをあたえるのを講義の目的とする。特に文科系学生については、飛躍的發展をとげつゝある自然科学の1部門としての生物学の概要をなるべく高い水準において習得させるようにする。

著者名 大学自然科学教育研究会編
書名 一般教育生物学
発行所 東京教学社
価格 600円

生理学 (全学科関係) 4単位 教授 友田勲
健全な身心を完成するについて、個人と社会との関連における生理学の分野を重点的に述べる。

著者名 長田泰公
書名 生理学要説
発行所 光成館
価格 750円

外国語科目

科目	年次	学科	担当者	教科書名	著者	発行所	価格
英語	1	英文	井 芹	The Call of the Wilel	J. London	学書房	260
"	1	食物	重 松	Understanding Poetry	J. Reeves 永井 誠 注	成美堂	300
"	1	家政	"	American Folktales and Legends	D. Stout 三浦新市 注	"	300

英語（食物学科関係） 2単位 教授 十時 崇三郎
テキスト未定

英語（国文学科関係） 2単位 教授 十時 崇三郎
テキスト未定

英語（英文学科関係） 2単位 教授 十時 崇三郎
テキスト未定

英語（家政学科関係） 2単位 講師 吉田 正憲

英語（国文学科関係） 2単位 講師 山田 知良

専門教育科目

食物学科

栄養生理学 4単位 教授 友田 勲

健全な身体を維持増進するためには必要な栄養の知識を修得する必要があるこのために生理学的な分野から食物の量と質とその変化について考究する。

著者名 速水 決 新生化学ガイドブック

書名 栄養生理学 吉岡政七

発行所 光生館 南江堂

価格 750円 1900円

応用微生物学 2単位 講師 東 矢 直

応用微生物学の中で特に食用微生物に重点を置き、これらが如何に食品工業上利用されているかを説明し、栄養士としての専門的基礎を得る目的で容易に理解できるように講義する。

著者名 相磯和嘉, 務台蔵人 共著

書名 応用微生物学

発行所 医歯薬出版株式会社

価格 700円

国文学科

国文学史 2単位 助教授 一瀬 幸子

専門科目としての文学史を理解させることにより国文学研究の基礎を作るのが目的である。

テキスト (別に定める)

英文学科

英作文 (1) 2単位 助教授 伊牟田 忠敏

WritingのためのReadingに力を入れることにより、自然な英文を書く能力をつけさせることに力を入れる。そのためにテキストは二冊使用する。

①

著者名 琉球大学

書名 A Synthetic Approach To English

発行所 英宝社

価格 580円

②

著者名 James kirknop Folktales And

書名 Legends of England

発行所 成美堂

価格 250円

英文法概論 4単位 教授 富田 党 夫

高校までに学んだ英文法の総復習を兼ね、同時に英語学関係の原書を読み馴れる第一歩として六月頃まで約三カ月間下記のテキストを使用する。

① Christophersen and Sandred: An Advanced English Grammar (Macmillan)

それ以後は次のテキストを精読しながら進めることにする。

② H. Sweet: New English Grammar, vol 12 (OUP)

①は第一日目の教室で渡します。

②は六月頃着本の予定。

著者名

書名

発行所

価格

不明 (着本後お知らせします。)